

# 随

# 想

## 一期一会

この言葉を見聞きするたび、決まってしまう光景があります。

私がこの言葉に出会ったのは中学3年生の国語の初授業でのこと。挨拶をするなり突然大きく「一期一会」と板書され「これ何て読む?どんな意味か知ってる?」と問いかけられ、誰も答えられないでいると先生の方からその読み方と意味を教えてくださいました。「いちごいちえ。今日初めて会う人だけじゃなく、毎日顔を合わせる相手であっても、その日その瞬間に一緒に過ごす機会は一生涯に一度きり。だからこそ二度と訪れない今この瞬間を大切にしましょう」そんなメッセージでした。

この言葉との出会いから数十年経った今、思い返してみると数えきれないほどの一期一会があり、さまざまな思い出が蘇ってきます。なかでも私にとって大好きな『犬』たちとの一期一会は感慨深いものでした。小学校1年生の頃から繋がっている10匹の犬たちとのそれぞれの縁。もちろん飼い犬ばかりではありませんでした。捨て犬からはじまり、車にひかれて後ろ足が動かなくなりもう一度ひかれそうになっていたところ

に遭遇した犬まで、その一匹一匹との出会いと別れは、短くて1日、長くて17年になるまでさまざまでした。そんな二度と訪れない今この瞬間が犬たちにもあり、私の人生を彩ってくれたように思います。そして現在、10匹目の縁である愛犬リリーに出会って半年。その日その瞬間に一緒に過ごす機会と、その縁である『一期一会』に感謝しながら、これからの日々も大切に過ごしていこうと思えます。

※最近気づいたのですが、我が家の庭には「二期一会」の守り神がおりました。

